

再評価結果（平成30年度）

担当課：道路整備課課
担当課長名：土井 正吉

事業名	一般国道438号 <small>かみはちまん</small> 上八万バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	徳島県
起終点	自：徳島県徳島市八万町大坪 至：徳島県名東郡佐那河内村一ノ瀬			延長	5.5km

事業概要

一般国道438号は県央部を横断する幹線道路であり、徳島市内においては渋滞解消を目的とする放射環状道路に位置付けられている。上八万バイパスは、「国が進める徳島南環状道路への連絡道路」及び「朝夕の交通渋滞の緩和と歩車道の分離が不十分なために多発している交通事故の解消」、「佐那河内村や神山町との交流促進」を図ることを目的に整備する2車線道路である。

昭和63年度事業化	-	平成3年度用地着手	平成4年度工事着手
全体事業費	125 億円	事業進捗率	74.1 %
計画交通量	2,800~12,800台/日		

費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	1.2	総費用 (残事業)/ (事業全体) 24.5/175.7億円 事業費: 24.0/174.0億円 維持管理費: 0.5/ 1.7億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 37.7/206.0億円 走行時間短縮便益: 32.0/186.7億円 走行経費減少便益: 5.1/ 16.7億円 交通事故減少便益: 0.6/ 2.5億円	基準年 平成30年
	(残事業)	1.5			

感度分析の結果	【事業全体】 交通量: B/C=1.06~1.29 (交通量±10%) 事業費: B/C=1.06~1.31 (事業費±10%) 事業期間: B/C=1.16~1.18 (事業期間±1年)	【残事業】 交通量: B/C=1.38~1.69 (交通量±10%) 事業費: B/C=1.40~1.70 (事業費±10%) 事業期間: B/C=1.47~1.61 (事業期間±1年)
---------	--	---

- ### 事業の効果等
- 国土・地域ネットワークの構築：徳島南環状道路 上八万ICへのアクセス向上。
 - 災害への備え：緊急輸送道路ネットワークの強化による地域防災力の向上。
園瀬川出水時の道路冠水の解消。
 - 周辺地域の効果：地域の安全の確保、地域産業の物流の効率化。

関係する地方公共団体等の意見

■ 沿線市町村で構成する「国道438号・439号並びに主要地方道山城東祖谷山線改良促進期成同盟会」から早期整備を求める要望を受けている。

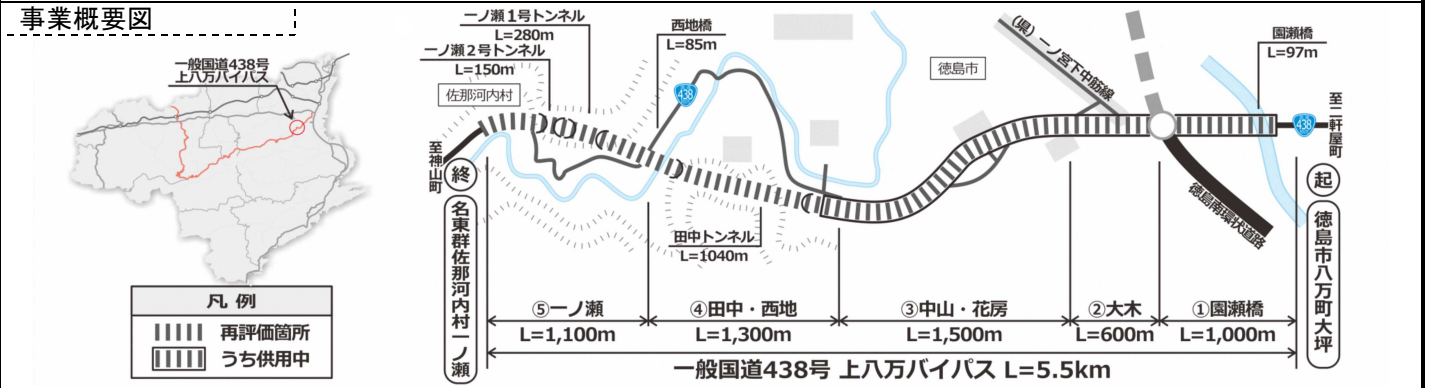
- ### 前回再評価時より今回再評価実施までの周辺環境変化等
- 平成27年2月：「一般国道192号 徳島南環状道路」の上八万IC～法花ICの約2.2kmが供用。
- ### 事業の進捗状況、残事業の内容等
- 平成15年度末の供用区間は全延長5.5kmのうち、中山・花房地区の約1.5kmが供用済み。
 - 平成22年6月には大木地区の約0.6kmが供用。
 - 平成27年2月には園瀬橋地区の約1.0kmが供用。
 - 残事業箇所は一ノ瀬地区及び田中・西地地区のバイパス部。

- ### 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
- 現道拡幅区間を優先して整備を行い、落石危険箇所の解消と整備効果の早期発現を目指す。
- ### 施工の構造や工法の変更等
- 構造物のプレキャスト化（L型擁壁）によりコスト縮減及び工期短縮を図っている。
 - 他事業と連携した残土の有効利用によりコスト縮減を図っている。

対応方針：事業継続

対応方針の決定理由

■ 以上の事業効果等を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。



※ 総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。